

# かい ぎ ろく 会 議 録

<b>かいぎ めいしやう 会議の名称</b>	だい かいこまきしたぶんかきやうせいきやうぎかい 第1回小牧市多文化共生協議会			
<b>かいさいにちじ 開催日時</b>	れいわがねん がつ にち きん じ ふん じ ふん 令和元年5月17日(金) 19時00分～20時00分			
<b>かいさいばしよ 開催場所</b>	こまきしやくしよ ほんちやうしや かい かいぎしつ 小牧市役所 本庁舎4階 402会議室			
<b>しゆつせきしや およ 出席者 及び</b>  <b>けつせきしや 欠席者</b>	<p><b>しゆつせきしや ○出席者</b></p> <p><b>いいん 【委員】</b></p> <p>こんどういいん ひだのいいん かわついいん こやなぎいいん まえだいいん やまもとまこといいん たかさき                  近藤委員、肥田野委員、川津委員、小柳委員、前田委員、山本眞琴委員、高崎</p> <p>いいん すざきいいん ひらさかいいん さかもといいん おぐらいいん しみずいいん なかむらいいん やまもと                  委員、須崎委員、平坂委員、坂本委員、小椋委員、清水委員、中村委員、山本</p> <p>じゆんだいいん くりきいいん こまきしきやういくいいん かいがっこうきやういくかしどうしゆじ たけうちいいん                  順大委員、栗木委員（小牧市教育委員会学校教育課指導主事）、竹内委員</p> <p>こまきしちいきかつせいかえいぎやうぶじちやう                  （小牧市地域活性化営業部次長）</p> <p><b>じむきよく 【事務局】</b></p> <p>むらたかちやう かねこせんもんいいん みやざわしゆじほ                  村田課長、金子専門員、宮澤主事補、</p> <p>かぶしがいいしやさーべいりさーちせんたー いたくぎやうしや                  株式会社サーベイリサーチセンター（委託業者）</p> <p><b>けつせきしや ○欠席者</b></p> <p>あらがきいいん                  新垣委員</p>			
<b>ぼうちやう か ひ 傍聴の可否</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	<b>ぼうちやうにんずう 傍聴人数</b>	めい 2名
<b>かいぎしだい 会議次第</b>	<p>1 かいかい 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 ないやう 内容</p> <p>(1) かいちやうおよ ふくかいちやう ごせん                  会長及び副会長の互選について</p> <p>(2) たぶんかきやうせいすいしん だい じ さくてい                  多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定について</p> <p>(3) しみん たぶんかきやうせい わーくしよつ ぶ かいさい                  こまき市民「多文化共生」ワークショップの開催について</p> <p>4 た                  その他</p>			

<p>はいふしりょう 配布資料</p>	<p>しだい <b>次第</b></p> <p>しりょう <b>資料1</b> こまきしたぶんかきょうせいきょうぎかい いいんめいぼ 小牧市多文化共生協議会 委員名簿</p> <p>しりょう <b>資料2</b> こまきしたぶんかきょうせいきょうぎかいせつちようこう 小牧市多文化共生協議会設置要綱</p> <p>しりょう <b>資料3-1</b> こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん だい じぶらん さくてい 小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定について</p> <p>しりょう <b>資料3-2</b> こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん だい じぶらん さくていすけじゅーるあん 小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】策定スケジュール案</p> <p>しりょう <b>資料4</b> しみん たぶんかきょうせい わーくしょっぷ こまき市民「多文化共生」ワークショップについて</p> <p>さんこうしりょう <b>参考資料</b> こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん 小牧市多文化共生推進プラン</p> <p>さんこうしりょう <b>参考資料</b> へいせい ねんどげんざい こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらんとりくみじょうきょう 平成30年度現在 小牧市多文化共生推進プラン取組状況</p> <p>さんこうしりょう <b>参考資料</b> たぶんかきょうせい かん あんけーとちようさけつか 多文化共生に関するアンケート調査結果</p>
<p>といあわ さき 問合せ先</p>	<p>こまきしやくしょ ちいきかつせいかえいぎょうぶ していぶろもーしょんか そうしゅつがかり 小牧市役所 地域活性化営業部 シティプロモーション課 にぎわい創出係</p>
<p>かいぎないよう 会議内容</p>	<p>じ べー じいこう さんしやう 次ページ以降を参照</p>

# かいぎ ないよう 会 議 内 容

## 1 かいかい 開会

しみんけんしょうしょうわ  
市民憲章唱和

## 2 あいさつ あいさつ

していぶろもーしょんかちょう  
シティプロモーション課長よりあいさつ

## 3 ないよう 内容

### じむきょく (事務局)

たぶんかきょうせいきぎょうかい こまきしたぶんかきょうせいすいしん だいじ さくてい しみん  
多文化共生協議会は、小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定にあたり、市民、  
きぎょうおよ ちいき いけん き せつち こんかい しりょう いいんめいぼ  
企業及び地域の意見を聴くため設置するもので、今回、資料1「委員名簿」のとおり、17名の皆様  
に委員をお願いすることになりました。委嘱状につきましては、皆様の机の上にお配りさせていた  
だいておりますので、よろしくお願ひします。本協議会は、本日も含め、今年度4回から5回開催  
し、皆様のご意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

つづ ほんきょうぎかい こまきしんぎかいとう かいぎ こうかい かん ししん だいじょう きてい もと  
続きまして、本協議会は、「小牧市審議会等の会議の公開に関する指針」第3条の規定に基づ  
き、原則として公開することとしています。本日は、2名より傍聴の申し込みがあり、許可しましたの  
で、ご報告させていただきます。

まづは、かんたん じ こしょうかい じかん と おも おそ い しりょう めいぼ  
まずは、簡単な自己紹介をいただく時間を取りたいと思います。恐れ入りますが、資料1の名簿  
の順に、ひとりずつ自己紹介をしていただきたいと思います。また、いいん みなさま あと じむきょく  
委員の皆様は、自己紹介をさせていただきます。時間関係上、ひとりぶんい以内でお願いいたします。

それでは、こんどうあつしさま じゅんばん じ こしょうかい ねが  
それでは、近藤敦様から順番に自己紹介をお願いいたします。

### かくいいん じむきょくじ こしょうかい 《各委員・事務局自己紹介》

### じむきょく (事務局)

ありがとうございました。

それでは、しだい ないよう はい まえ ほんじつ しりょう かくにん  
それでは、次第の3「内容」に入ります前に、本日の資料を確認させていただきます。

### しりょうかくにん 《資料確認》

**(事務局)**

資料に過不足がございましたら、事務局までお申しつけください。よろしいでしょうか。

それでは、次第の3「内容」の(1)「会長及び副会長の互選について」に入ります。恐れ入りますが、資料2「小牧市多文化共生協議会設置要綱」をご覧ください。

小牧市多文化共生協議会設置要綱第4条には、「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりそれを定める」となっておりますので、まず、会長につきまして、互選により決定したいとおもいます。

会長の互選につきまして、何かご意見はありませんか。

**(前田委員)**

事務局より腹案はありませんか。

**(事務局)**

事務局としましては、多文化共生に関して専門的な知識をお持ちである、近藤委員に会長をお願いしてはどうかと考えております。

**(事務局)**

他にご意見はありませんか。

他にはないようですので、採決をとります。近藤委員の会長就任について、ご賛同いただける方は手を挙げてください。

ご賛同いただけましたので、近藤委員にお願いすることといたします。近藤委員よろしくお願ひします。

**(事務局)**

それでは、今後の進行につきましては、近藤会長にお願いすることといたします。近藤会長、よろしくお願ひします。

**(近藤会長)**

それでは、引き続き、副会長の互選を行います。副会長の互選につきまして、なにかご意見はありませんか。

特にご意見もない様ですので、会長の私から、事務局を所管する部の次長であられます、竹内委員を推薦したいと思いますがおもいますが、よろしいでしょうか。

それでは、竹内委員の副会長就任につきまして、ご賛同いただける方は手を挙げてください。

ご賛同いただきましたので、竹内委員にお願いすることといたします。竹内副会長、よろしくお  
ねが  
願いいいたします。

つづ  
続きまして、内容の(2)「多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定について」、事務局に  
せつめい もと  
説明を求めます。

## じむきょく (事務局)

### こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん だい じぶらん さくてい ○小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定について

#### 1. これまでの経緯と小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】策定の趣旨

こまきしたぶんかきょうせいすいしんぶらん ねん がつ さくてい  
小牧市多文化共生推進プランは、2011年3月に策定し、「みんな『こまき市民』、助け合っ  
えがお く  
て笑顔で暮らせるまち」をスローガンに、「地域社会への貢献」と「個人の尊厳と基本的人権の尊重」  
きほんもくひょう た じつげん と く  
をもとに5つの基本目標を立て、その実現に取り組んできました。

げんざい ぶらん けいかくきかん どうしょ ねんど ねんど ねんかん けいかくしゅうりょう  
現在のプランの計画期間は当初、2011年度から2015年度までの5年間でしたが、計画終了と  
ねんどじてん たっせいりつ ぜんたい ひく あたい とど  
なる2015年度時点での達成率が全体で51.6%と低い値に留まっていました。また、当時の  
こまきしたぶんかきょうせいきょうぎかい ひ つづ げんざい ぶらん きほんてき かんが かつ きほんもくひょう こんご  
小牧市多文化共生協議会からは、引き続き現在のプランの基本的な考え方や基本目標を今後  
こまきし たぶんかきょうせいしきく ししん けいしゅう いげんしよ ていしゅつ  
の小牧市の多文化共生施策の指針として継承してほしいとの意見書が提出されました。このた  
げんざい ぶらん けいかくきかん えんちょう ひ つづ たっせいりつ こうじょう めざ  
め、現在のプランの計画期間を延長し、引き続き達成率の向上を目指してきました。

へいせい ねん ねんどげんざい しんちよくじょうきょう さんこうしりょう へいせい ねんどげんざい  
なお、平成30年、2018年度現在の進捗状況は、参考資料にあります、平成30年度現在の  
しんちよくじょうきょう ぜん こうもくちゅう たっせい こうもく たっせいりつ  
進捗状況のとおりでありまして、全155項目中、達成したのは89項目、達成率、57.4%でござい  
ます。しかしプランには書かれている「資源・ごみの分け方と出し方」、のかわりに、現在では「ごみ  
ぶんべつあぶり つか ぶらん か こうもく たっせい だいたいしゅだん たっせい  
分別アプリ」を使うなど、プランに書かれた項目は達成できていないものの、代替手段により達成し  
こうもく こと こうさつ くわ ぜんたいてき わりあい たっせい  
ている項目もあり、こういった事の考察を加えますと、全体的にはかなりの割合で達成しているもの  
おも  
と思われま。

りーまんしょくくいでん げんしゅう つづ がいこくじんじんこう ぞうか てん こくせきべつこうせい  
しかし、リーマンショック以降、減少を続けていた外国人人口が増加に転じ、また国籍別構成で  
も、現在のプラン策定時点では50%近く存在したブラジル国籍の外国人の割合が減少し、代わっ  
げんざい ぶらん さくていじてん ちか ぞんざい ぶらじる こくせき がいこくじん わりあい げんしゅう か  
てベトナム国籍やフィリピン国籍の外国人の割合が増加するなど、小牧市における外国人の構成  
が変化しつつあります。この変化の状況におきましては、本資料の「4. 小牧市の外国人住民数の  
へんか へんか じょうきょう ほんしりょう こまきし がいこくじんじゅうみんすう  
推移」で説明させていただきます。また、愛知県では、2018年3月に「あいち多文化共生推進

「**プラン2022**」を策定し、「**多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくり**」を基本目標に、**ライフサイクル**に応じた**継続的な支援**などを進めています。さらには、**2018年12月**に閣議決定された「**外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策**」に、**外国人材の適正・円滑な受入れの促進**に向けた**取組**とともに、**外国人との共生社会の実現**に向けた**環境整備**を推進することが掲げられており、**今後も外国人人口が増加し、その対応が必要となること**が見込まれています。

こうした背景から、**今後も引き続き「多文化共生のまち」**をめざしていくためには、**現在のプラン**の**基本的な考え方**等を**継承**しながら、**現在のプラン**を**評価・検証**し、**より実効性のあるプラン**とすることや、**現在のプラン策定後**に生じた**新たな課題**への**対応**が必要であることから、**令和元年**策定予定の「**小牧市まちづくり推進計画**」に合わせ、**現在のプラン**を**改定**し、**小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】**を策定します。

## 2. 策定期期

**2019年夏**に策定予定の「**小牧市まちづくり推進計画**」の**下位**に位置づけられた、**多文化共生**を推進するための**個別計画**とするため、**当該計画策定後**に、**あらためて基本的な考え方**や**基本目標の整合性**を検証し、**アクションプラン**を定めていく必要があります。このため、**第2次プラン**の策定は**2020年中**を目標とします。

## 3. 第2次プラン策定に向けた実施項目

資料3-2、**小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】策定スケジュール案**をご覧ください。**多文化共生推進プラン【第2次プラン】策定スケジュール案**では**2018年度**からの**スケジュール**を示しておりますが、これらに**先立ち**まして、**多文化共生**に関する**アンケート**を**2018年3月**に実施しております。その結果につきましては、**参考資料**につけさせていただいたとおりでございます。

それでは、資料の**左から2列目**の**番号**に**そって説明**させていただきます。

### ②多文化共生協議会の設置及び開催

**多文化共生協議会**は、**第2次プラン**の**策定**にあたり、**市民、企業及び地域**の**意見**を聴くために**設置**します。

### ③多文化共生推進委員会の開催

**多文化共生推進委員会**は、**市内**に**在住**する**外国人市民**が**地域**において**日本人市民**と**共生**し、**健やかな生活**を送るための**施策**を**市内各課**が**連携し協議**するために**設置**します。なお**今年度**

は、4回程度開催し、第2次プランの策定について協議を行います。

#### ④多文化共生推進委員会実務担当者会議の開催

多文化共生推進委員会実務担当者会議は、多文化共生推進委員会に付議する事項に関する企画、調査及び検討や、多文化共生推進委員会から付議された事項の調査及び検討などを行うために設置します。今年度は5回開催を予定しております。

#### ⑤現状整理及び課題抽出

現状整理は、現在のプランの「プラン策定の背景」「位置づけ」に相当するものであり、小牧市に暮らす外国人市民の現状や、上位・関連計画の整理と整合性の確認を行います。

またアンケート、各種会議やワークショップ等を通じて、現在のプランの評価・検証を行いながら、課題を抽出します。

#### ⑥ワークショップの開催

ワークショップは、現在のプランの評価・検証と、今後対応していく必要のある課題を抽出するため、外国人市民や外国人市民を雇用する企業など、多様な主体が参加して実施します。このワークショップは一般社団法人小牧青年会議所と協働で実施する予定であり、後ほど改めて説明させていただきます。

最終的な第2次プランはパブリックコメントを経て、2020年3月頃に公表を目標としており、⑪第2次プランの印刷、⑫概要版の作成・翻訳は2020年度に実施予定となっております。

### 4. 小牧市の外国人住民数の推移

2019年4月1日現在の、小牧市の外国人住民数は、9,323人で、総人口の6.1%、住民基本台帳人口の16人に一人を占めています。現在のプランを策定する前の2008年4月には、ブラジル国籍を持つ人を中心に約9,600人の外国人登録者がいましたが、同年9月のリーマンショックをきっかけに、2014年4月には約7,100人にまで減少しました。その後は、ベトナムやフィリピン国籍を持つ人を中心に増加に転じ、リーマンショック前の水準に近づきつつあります。

また国籍別の人数につきましては、2019年4月1日現在の外国人住民数を国別にみると、ブラジルが3,094人で最も多く、次いでフィリピンが1,402人、ベトナムが1,252人、中国が1,034人、ペルーが805人となっております。

さらに、資料にはございませんが、言語別の状況につきましては、あくまでも推計値になります  
が、ポルトガル語話者が約33%、英語話者が約16%、スペイン語話者が約14%、ベトナム語  
話者が約13%、中国語話者が約11%でございまして、ベトナム語を母国語とする外国人住民が  
増加しております。以上で「小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定について」の  
説明とさせていただきます。

#### (近藤会長)

事務局の説明が終わりました。「多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定について」、何か  
ご意見・ご質問はございませんか。

#### (須崎委員)

今、外国人人口が増えてきているという話を聞きましたが、以前に比べると、技能実習生の  
方が増えてきていると思います。技能実習生の方は3年で帰国されるが、実際、定住ビザとか永住  
ビザとかで小牧市にこれから住む可能性のある外国人の方は何パーセントぐらいいるのでしょ  
うか。

#### (事務局)

お答えさせていただきます。各年4月1日現在の外国人住民の在留資格別人口で見ますと、  
永住者は今年の4月1日現在で約3,800人、定住者につきましては、約1,800人。割合で見ま  
すと、永住者が約41%、定住者が約19%となっています。その他、定住の割合が高いと言われて  
いる、日本人の配偶者、こちらにつきましては、約500人で5%、永住者の配偶者につきましては  
約300人で3%という状況でございます。先ほどお話しがありました、技能実習生ですが、過去の  
データ、古いデータではないのですが、平成25年ですと約700人だったのが、平成31年、今年  
の4月で約1,700人ということで、非常に増えている状況でございます。

#### (近藤会長)

ちょっと補足しますと、新しい法律のもとでは、技能実習3年を終えた後に、特定技能1号に  
移行して、まだ実施されていないのですが、特定技能2号というのがいずれ実施されると、永住に  
近づいていくので、技能実習の人が必ず帰る、ということではなくなっていて、帰る人もいます  
が、定住に近づいている人もいるだろう、という状況です。

#### (小柳委員)



私は、区長会にも出るものですから、自治会に入会していただいたり、交流していただけるかというのが大事な部分なわけです。地区別に、小牧の場合は、自治会長は6名いるものですから、外国人の方がどれくらいいらっしゃるか、ある程度把握させてもらおうと、今後の地域の区長会等で、外国人が集中的に多い所、私の所は戸建てで3件ほどですので、あんまり問題はないのですが、全体的にこれから進めていく上である程度把握して、どう対応していくか、少ないから良いという事ではないですが、学校、小学校・中学校は一緒ですから、ある程度の把握ができていれば、また交流ができるかと思えます。方法を考える上でも良いと思えますので、今日でなくいいので、教えていただきたいと思います。

#### (事務局)

各地区別、区別の外国人の状況は公表しておりませんので、この場でお答えできないのですが、お配りいたしました、アンケート調査結果の35ページになりますが、今回のアンケートに実施した方に答えていただきました、居住地区というのがございます。当然アンケートにつきましては、無差別に送りまして、返す・返さないはあるものですから、多少違いは出てくるかもしれませんが、ここに書いてあるとおり、35ページの間10、居住地区というところですが、左側の円グラフが今回のアンケートで集計した結果、右側が2010年に調査をした結果になっておりまして、小牧地区、味岡地区、篠岡地区が多いというのが結果になっております。

#### (近藤会長)

地区別のものをプランの中に入れるという余地はあるのでしょうか。

#### (事務局)

こちらにつきましては、今後検討させていただきたいと思います。

#### (近藤会長)

他にありませんでしょうか。

ご意見・ご質問ともないようですので、次に移ります。

内容の(3)「こまき市民「多文化共生」ワークショップの開催について」事務局に説明を求めます。

#### (事務局)

資料4「こまき市民「多文化共生」ワークショップについて」をご覧ください。

こまき市民「多文化共生」ワークショップでありますが、第2次プランの策定においては、現

プランの評価および今後対応していく必要のある課題の抽出のため日本人市民と外国人市民が参加するワークショップを開催します。

まずは、「1. 実施概要」の項目でございます。今回のワークショップの主催は小牧市及び一般社団法人小牧青年会議所とします。日時は7月6日土曜日の15時から17時15分とし、場所はまなび創造館4階の多目的室を予定しております。参加費は無料です。参加対象は、市内在住・在勤・在学の日本人市民及び外国人市民とし、原則として日本語でコミュニケーションがとれる方の参加を想定しております。定員は40名としますが、応募状況により実際の参加人数は変動すると思われま。また、申込方法は今後作成するワークショップのチラシに添付された申込書の送付を予定しております。参加は事前の申し込みが前提ですが、定員に空きがあれば当日会場に来られた方も受け入れも可とします。また、申込締切は7月3日までを予定しております。

続いて「2. ワークショッププログラム(案)」でございます。ワークショップの司会進行は、プログラムの①から③及び⑦から⑨を、一般社団法人小牧青年会議所が担当しまして、④から⑥までは、委託業者である株式会社サーベイリサーチセンターが担当させていただきます。

プログラムの内容としましては、「①主催者挨拶」として、一般社団法人小牧青年会議所と小牧市から参加者に挨拶をさせていただき、次に「②多文化共生の現状について」、小牧市から市内の外国人住民を取り巻く状況の変化をご説明します。

続いて「③多文化共生活動報告」では、市民と企業の立場から多文化共生推進の活動を行っている方に協力を依頼し、活動の報告と課題の共有を行います。

その次に、「④ワークショッププログラム説明」として、進め方と作業の時間配分についてご説明し、「⑤グループワーク」では日本人市民と外国人市民が共に暮らしていく中で困っていることなどについて、意見交換と意見の整理を行います。その後、まとめた意見は「⑥グループ意見発表」として、グループごとに発表していただくことを考えております。

意見発表後は、「⑦ワークショップのまとめ」として、小牧市からのお礼の挨拶といただいた意見の反映のスケジュールについての説明を予定しております。その後、一般社団法人小牧青年会議所による「⑧終了挨拶」と「⑨記念撮影」をもって終了となります。

以上がワークショップのプログラム案となっております。

最後に「3. その他」であります、実施についての補足事項であります。

外国人市民の参加者については日本語でコミュニケーションがとれる方が対象ですが、日本語があまり上手ではない参加者については日本語が上手かつ母語が同じ参加者と同じグループに配置し、伝わりにくい考えや意図を日本人市民の参加者に伝わるようにする配慮を行います。またワークショップの資料は外国人市民に理解しやすいようにやさしい日本語で作成します。

参加者に対しましては、ワークショップを振り返るアンケートの配布を予定しており、アンケートは全プログラム終了後に記入していただき、記入が終わった方からの解散を予定しております。

アンケートの内容は今後検討します。

申込書の付いたワークショップのチラシは、6月中旬以降に市内各施設で配布する予定です。

以上で「こまき市民「多文化共生」ワークショップの開催について」の説明とさせていただきます。

ひとつだけ、みなさまにお願いです。必ず参加していただく必要はないのですが、ご都合がよろしければ、見に来ていただければと思いますので、併せてよろしくお願ひします。

**(近藤会長)**

事務局の説明が終わりました。「こまき市民「多文化共生」ワークショップの開催について」、何かご意見・ご質問はございませんか。

**(肥田野委員)**

定員40名ということですが、日本人市民と外国人市民の割合はどのように考えていますか。

**(事務局)**

応募してみないとわからないところもありますが、日本人、外国人同数を想定しております。

**(近藤会長)**

他に何かございますでしょうか。

**(山本順大委員)**

ポルトガル語とスペイン語などで広報誌がありましたよね。あれに載せる予定でしょうか。

**(事務局)**

チラシを各施設に置かさせていただくほか、広報こまきですとか、外国語版生活情報誌こまきなどにも載せさせていただきたいと考えています。

**(近藤会長)**

ご意見・ご質問ともないようですので、次に移ります。

次第の4「その他」であります、何かありますでしょうか。

### (事務局)

事務局より事務連絡をさせていただきます。

まずは、次回の協議会の予定であります。次回の協議会は、資料3-2のスケジュール案にお示しさせていただきましたとおり、9月下旬頃を予定しております。なお、詳しい日程につきましては、近くなりましたら、改めて通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

次に、今回の協議会の謝礼につきまして、承諾書にご記載いただきました口座にお振込みをさせていただく予定であります、これまで小牧市より謝礼等の振り込みを受けたことのない方につきましては、個人へのお振込みになりますと、マイナンバーの確認が必要になります。該当の委員の方には、後日改めてご通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

最後になりますが、本日いただきましたご意見を踏まえ、多文化共生推進プラン【第2次プラン】の策定を進めさせていただきますが、今後につきましても、本日の会議内容について思いついた事など、何かありましたら、どのような事でも結構ですので、シティプロモーション課までご意見をお寄せいただければ幸いです。

### (近藤会長)

その他、委員の皆様からでも結構ですので、何かありますでしょうか。

7月27日(土)に名城大学で名古屋多文化共生研究会というのをやっているのですが、そこで新しく今年度の総合的な対応策みたいなものなかで、特に多言語の相談業務について話し合う場をもうけようということで、午後2時ぐらいに、愛知県の国際交流協会とか、名古屋市で相談業務をやっている方とか、研究者の方、通訳の養成をやっている方などをお招きして、名城大学の塩釜口にある天白のキャンパスでやりますので、また事務局にご案内をしますが、興味のある方はご参加ください。

では、他に何かございませうでしょうか。

特にないようですので、これをもちまして、第1回小牧市多文化共生協議会を終了いたします。

皆様、お疲れ様でした。

以上